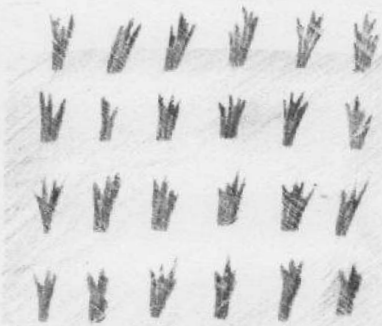




里山歳時記

ウグミたちもロシアへ帰ってから
 時がたつのに寒い日が続いた
 リ4月の中旬には雪まで降った。
 5月になっても気温が低く時に高温になたりして身体
 が追いつかない。6月中旬頃に例年田植えが始まるの
 だけけれど、今年は三寒四温という訳ではないので心配
 しながらの作業となるでしょう。ところが7月中旬に梅
 雨明けしたとたん連日の猛暑となり毎日ニュースとなつて
 いる。そんな日は夕方近くになると浅間山方面がまっ
 暗になって雷雨となる。今年は
 今のところ大雨による被害は無
 いけれどこの町の幾筋かの川
 は上流で降った雨も集めて急
 に土色となって速く流れて行き
 東へ移動した黒雲を背景に二
 重の虹がかかる



(絵と文 石橋)



夏の花



花アルバム



みんなお客様が いらっしゃいました

クッキングハウス

の皆さん（旅行文集より B5で7ページ半書かれた方も）

- *夕方&早朝の散歩が気持ち良かった（森ワンコ・チビコちゃんのご案内）
- *森ごはんがうまい（シェフはただものではない？）コーヒーが美味しい（水がいいから）
メニューを詳しく書いてくれた方も（夕食：茶碗蒸し・きのこ汁・刺身こんにゃく・カジキマ
グロの焼き物・白和え・とりケーキ・ミートローフ 朝食：鮭のマヨネーズ焼き・変わりオ
ムレツ・ひじき・ サラダ・けんちん汁・原木しいたけ焼き・肉豆腐・胡麻和え）
- *夜中に寝られず外に出て「満天のプラネタリウムのようなあるいは滝のような星空 天の川も
星雲も」を見た！（ついでにお風呂も入った）
- *夜はクッキングハウス専属？シンガーソングターの増田康熙さんを交えての歌の会。
感動的に和やかに。

NPO法人クッキングハウス（東京都調布市 代表 松浦幸子さん）は、
「地域で・共に・美味しいね！から」を掲げて、心の病、生き辛さを抱えた方々を
20年以上にわたり支援。自然派家庭料理のレストラン、ギャラリー&喫茶店、夜
までの居場所と、3つの拠点で多彩で自由な活動を展開。

昨年3月、森の家で松浦さんの「メンタルヘルス市民講座」を開催しました。



かんなの里のグループ旅行

かんなの里は、藤岡の入所施設です。小

グループでの宿泊で、3回目（＝3年目）になります。

大きな施設の中ではなかなか宿泊旅行に出にくいタイプの方々の宿泊先としてご利用いただ
いています。

今年のプログラムは、1日目、川越の駄菓子や横丁&東松山子ども動物園。2日目、足尾銅山
見学とトロッコ電車&日光二荒山神社見学とゲーム、とのこと。

穏やかに何事もなく一晩を過ごせるよう、皆さんを支援する職員チームの水面下の努力があり
ます。

参加者それぞれに楽しみがある行く先選定、綿密な下見、写真等で事前に利用者さんに納得の
いくようなチャートの作成等々。特に初めての場所・新しい経験が苦手なメンバーさんが楽しめ
るためのメンタルな配慮の丁寧なことには、いつも感心させられます。（ちゃんと食べて、ちゃ
んと寝て、というあたりまえのことをあたりまえにするのが難しい方への深い理解。ガラスの神
経を持つ方の生き辛さへの寄り添い・・・）

またこれも3回目になりますが、夕食後の一時、地元松井田町のふれあい福祉センターの職員
さんが音楽療法ボランティアに来てくださっての交流タイムがあります。

利用者の方々に笑顔で過ごしていただいておりますのが宿屋の楽しみです。

また来年もおいでくださいね。

生来の生きづらさに「統合失調症」という病名がついて、かれこれ20数年になります。薬を飲んでいるおかげで、普段はあまり病気のことは考えずに暮らしていられますが、季節の変わり目や、薬が少し足りない時には、たまに、ちょっと説明しづらい悩みがあります。

それは、「どんなことにも意味があるような気がして仕方ない」というものです。

たまたま見ていたテレビの登場人物の台詞や、たまたま開いた本のページに書いてあった言葉に、まるで自分のために発せられたもののような運命を感じるのは序の口で、ひどい時には茶碗によそった米粒のひとつひとつや、湯呑みの中のお茶の葉っぱのかけらが文字に見えます。「優しさに包まれたならきっと目に映るすべてのことがメッセージ」という歌の文句がありましたが、実際に「目に映るすべてのことがメッセージ」という状態になると、おちおち目を開けていただけません。優しさならぬ布団にでもくるまって、じっと耐えるしかない。

私は健常者ではないので、健常者のものの考え方は想像の域を越えないのですが、たぶん健常者にとって、意味のあることと意味のないことを仕分けるのは、とりたてて何も考えなくても自然にできる作業なのでしょう。その代わりに、一見自分と関係ない事柄に興味を持ったり、意味のない情報の中から有益な情報を拾い上げたりするのが難しいんじゃないかと思っています。「意味のない出来事なんてない」「眼に映るすべてのことがメッセージ」といったような言葉は、秩序正しく考えることになれている彼らの脳に、型破りなひらめきと、発想力を与えるためのものなのではないでしょうか。

私はというと、ちょっと油断をすると暴走を始める脳味噌をなだめながら、なるべく秩序正しく考えることを心がけています。茶碗のご飯がメッセージを伝えようとすることはまずない。物事にはおおむね意味がない。でも、その一方で、自分を励まし、力づけてくれる情報については、「きっと何かのお告げだわ」と、勝手にいい方に解釈しています。だって、誰かに励ましてもらうのは、たとえ錯覚でも嬉しいものだから。



転々(てんてん)

名古屋市在住。物書き志望。

精神障害者手帳を更新したら、1級から2級に障害の程度が下がりました(めでたい?)

* 松井田にご縁があって、森の家に宿泊されたお客様です。

こんなイベントありました

7月12日 **和太鼓グループ「風だまり」** 森の家で合宿・ふるさとセンターで演奏！



和太鼓奏者の関根まことさん（東京）が指導するグループ「風だまり」の有志13人が森の家に宿泊。「都会では思い切り音を響かせる場の確保が難しいから」とのことで、2日間、自然に囲まれて練習した後、「地元の皆さんに聞いて欲しい」とコンサートを実施した。会場のふるさとセンターは森の家から車で3分、ガラス張りの客席正面には妙義山をのぞみ、緑の風景が広がる絶好のロケーション。小学生から60代まで12人のメンバーは、何種類もの太鼓を駆使して、オリジナル曲を次々と披露。体験ワークショップでは希望者が「おろし」など基本的なリズムに挑戦。60人余りの地域の方々にワクワクするひと時をプレゼントしてくれました。

世話人の今井さん（横浜）は「この合宿が恒例となり、地元の方々が楽しみに待っていてくれるとうれしいです。」と語っておられました。ありがとうございました。

森の春市 3/28

新登場

山羊のメイちゃん



お餅つき



おもしろサイエンス シャボン玉



おなじみ



紙芝居屋
信澤さん



フォルクローレ
後藤りゆうじさん



2010・7・18

県道から増田川を渡って森の家まで上がって行く道(約400m)と建物周りと駐車場広場等が草刈の範囲で、もう16年位毎年やっている。特に初夏から秋口にかけては雑草との戦争である。手作業で根まで抜いてやれば多少回復も遅くすむのかもしれないけれど、なにしろ範囲が広いのでエンジン草刈機を背負ってすると、短時間ならともかく2、3時間もやると結構重労働になります。

雑草とはいっても観察の眼で見たり、雑草同士の戦争なんていうのもおもしろい世界があるのだろうけれどそれどころではありません。ただひたすら刈るのみであります。

中でも眼の仇にしているのはカラムシ。この草は繁殖力が強く刈っても刈っても負けてはいません。おまけに放っておくと毛虫が発生して筋だけ残して食い、食い足りない無数の毛虫たちが道を渡っていく様にまでなります。その次の敵はカナムグラ。この草のつるには逆向きのとげがあって他の植物に絡んで殖えてゆき、こすれると皮膚が切れたりします。他の草などを覆うようになりますのでやっかいなものです。このカナムグラと形がよく似ているヤブカラシという草も仇です。これはとげがない分よいのですがやはりツルの成長も早く厄介です。樹木に絡んで伸びてしまったつるは根のほうから切って引きずり出すようにして取り除きます。

このような戦争ももう少し兵力があれば助かるということで、「まついだ森の家さんぼ道プロジェクト」と称して集まってもらいました。当日は梅雨明けの翌日であいにくの好天になり、皆水分補給しながらの労働となりました。当然のことながら大勢いれそれだけ速い仕事となり大いに助かりました。草刈というものは、刈り取った草の山を片付けるのも結構大変だし、スタッフだけではやりきれないことなので感謝です。



(スタッフ石橋 題字・カットも)

当日は参加者17名。地元から高崎まで、10代から70代まで、多彩なラインアップ。思いっきり汗をかいてシャワーを浴びてお昼を食べたら昼寝もよし、近くに温泉もあり。

皆さんも、参加してみませんか？

次回 9月26日・11月28日

草刈だけでなく、球根や花木を植えて、素敵なおさんぼ道を作っていきます。

その日のエピソード その1

あまり頑健なタイプではないYさん、持ったこともない草刈機をいきなり持たされ、根がまじめなのでとことん頑張っへろへろに。ところが彼の感想は「今日までの内で5本の指に入るくらい気持が良かった」ですって。これには一同驚かされました。すっきり爽やかな表情でした。

その日のエピソード その2

お母さんと来てくれた小学生のSくんは、発達障害があり言葉が出ません。初めのうちは不安定でお母さんにしきりと訴えていましたが、いつの間にか落ち着いて楽しそう。お風呂でさっぱりしてソファでリラックス。お母さんはご自身もゆったりした気持になれてうれしい、こんなことは初めてでビックリといわれました。

こんなイベントあります

10月2日(土) 苦さんのサックスライブ in 森の家

恒例秋のアフタヌーンコンサートです。お出かけください。

苦さんこと苦米地義久さんプロフィール

1944年東京生まれ。ビクタースタジオエンジニアを経て、ジャズなどのライブ活動を続けつつ、'90年頃より環境映像音楽や、「音楽紀行シリーズ」「Photonシリーズ」などの、自然派音楽の創作に取り組む。日本全国を旅しながら作るアルバム「音楽紀行シリーズ」は現在15タイトル発売中。「人が元気に優しくなる」を願って演奏活動を続ける。東京都ヘブンアーティスト(大道芸)の資格を持ち、街角でのソロ活動も展開。長年、会社勤務の身であったが、今は与えられた時間、エネルギー、能力、のすべてを音楽に捧げる!・・・の心境。

10月17日(日) 第18回 まっいだ 夢伝

障碍のある人も、ない人も、さわやかな秋の1日を、楽しく、共に。

- ・種目(4km) マラソン、ウォーク、車椅子、電動車椅子
- ・定員 先着 500名
- ・参加料 1000円(以下へ郵便振込とする。)
- ・申込締切 平成20年9月30日
- ・申込 〒379-0292 安中市松井田町新堀 245 安中市松井田支所 夢伝実行委員会事務局
- ・電話 :027-393-7070(直通) fax:027-393-1093。

開催時間 8時00分~14時00分

開催場所 安中市松井田支所発着コース(開全長4km)

赤い羽根共同募金配分金により、地デジ対応TV購入

設立当時、「森」の家にTVは不要!という意見もありましたが
(川音と鳥の声と花と緑を十分味わっていただくために)、
こだわりのある方(決まった番組を見る!)や、長期滞在の方、
外出しにくい方。また研修や、情報交換のための活用など、
そしてやっぱり大晦日は「紅白歌合戦」を楽しみたい・・・
ということで、ホール及び6室中1室に、2台のTVを置いていました。
ベテランTVでもあり、また電波状況が良くないため、
紅白ならぬ白黒歌合戦になったこともありました。
今回、アンテナ等も換え、良い状態の映像が見られるようになりました。

募金いただきました群馬県民の皆様、配分していただいた共同募金会様、ありがとうございました。

おすすめ情報

里山のログハウスカフェ **Fukujuen Cafe** (高崎市里見・旧榛名町)は、

富久樹園で育てた果物を使った様々なデザートをお出ししています。

里山のさわやかな風を受けながら、ゆっくりとお寛ぎください。

営業時間 ■7～9月の10:00～17:00
TEL:027-343-2706 / 090-2750-8626



【ご案内】(高崎市街地方面からの場合)国道406号線下里見の交差点を過ぎ、セブンイレブン手前の信号を左折。右手鷲の峰カントリークラブ、さらに登って左手高崎食肉センターの看板、その先にフルーツ団地入り口、fukujuen cafeの看板がございます。数分直進すると天神山の駐車場に出ます。そこにfukujuen cafeがあります。

おすすめ情報

カフェレストラン「シャララカフェ」(1階)

045-253-3021

神奈川県横浜市西区浜松町14-40

相鉄線西横浜駅下車すぐ 西横浜斎場前 地域活動ホーム「ガッツ・ビーと西」内



どなたでも気軽に利用できるオシャレなカフェ。

障害者が職業訓練の一環として、接客・販売などを行っています。

おいしいカレー・パスタやコーヒーでくつろぎのひとときをお過ごしください。焼きたてパン販売中。

「生活創造空間 にし」は2つの障害者支援施設が入っています。

* 地域活動センター「ガッツ・ビーと西」は、障害のある人とその家族の日常生活のサポートや、デイサービス、ショートステイ、余暇支援などを行っています。

* 就労サポートセンター「エヌ・クラブ」は、就労に向けた支援や、働く場の提供などを行っています。

まついだ森の家 ご紹介

- ◎ ホームページURL <http://www.normanet.ne.jp/~morinoie/>
「まついだ森の家」で検索してください

ホームページトップから、ブログをごらんになれます。

*まついだ森の家のホームページは、視覚障がいの方のための読み上げソフトに対応しています。

- ◎ ブログURL <http://npomatsuidamorinoie.gunmablog.jp/>
「まついだ森の家里山日記」で検索してください

- ◎ E-mail matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp

まついだ森の家応援団会員 いつでも募集中!

NPO法人まついだ森の家は、二つの柱を立てて活動していきます

- ◎ いろいろなハンディをお持ちの方とその支援者に対して
気兼ねなく泊まれる宿と、交流の場を提供する。
- ◎ 里山の豊かな自然環境を発信していく。

その存在を応援して下さる方々が「応援団会員」です。

(2009年度会員 91名)

年会費は 10,000円、3,000円、1,000円 です。

まついだ森の家通信と、各種イベントのご案内をお送りいたします。よろしくご支援ください。



2009年度応援団会員及び寄付者お名前(順不同・敬称略)

内田武夫、影山太一、上泉歩、藤尾正明、古溪理哉、瀧澤久美子、木下美幸、高石知枝、天田和也、石橋與子、影山晴子、影山敦子、上原康男、南雲邦男、富樫真澄、石井義通、黒羽知代(以上正社員)、木村薫、山村孝子、天田治男、安藤洋子、山口淑子、桜井ひとみ、渋谷妙子、柳沢きく江、潮晴美、桜井三喜子、上原恵子、深津弥恵子、近藤龍良、坂本洋子、西郷孝彦、薬師寺正敏、佐藤かほる、鈴木拓実、岩崎和子、永沼昭子、小畑君代、渋谷惇江、沖山雪子、松尾浩子、小宮逸子、高橋比佐乃、三浦由喜子、栗田俊明、石塚彩子、郷原光子、藤岡春樹、石田実可子、小原啓太、谷川弥、中西雅人、原間啓史、納富沙織、平林茜里子、南順子、若林康秀、渡辺佳奈実、安川江美、白川紀子、杉山すみ子、多田貴枝子、高橋洋子、平林紹代、竹歳正子、上原君代、山口久代・克美、桜井三喜子、伊達富美子、小沼美奈子、池田誠司、佐藤和枝、神戸まさ子、黛 恵美子、小林 脩、渡辺聖、石井昭子、仲世古隆臣、黒羽正明、岡 寿子、真庭孝子、山川賢治、岡庭秀雄、山本美智子、熊谷充子、石原作知子、島村昌子、岩崎賢江、小林和夫、須藤いく子、中尾新之、南部康光、森下博子、本多敬子、藤尾孝枝、長山由利子、金子光子、悦永昭子、竹中志津子、西尾陽子、根本直子、上原静子、森下 修、藤尾正栄、福田孝子、上杉洋子、本田 豊、加藤聖午、上泉靖子、信澤淳一、信澤貞夫、秋山博明、石井景子

ご支援ありがとうございました。